

# 第三報

親愛ナル兄弟ニ懸拜ナ会社側ノ遺ノ口ヲ召ムスルヲ悲シム。本日ヨリ叔等桐馬麻野郎が独断テヤツタト云フハ、工場ノ未收修繕ヲ現金大ケニシロルハ、会社ノ諒解ヲ受ケニ人々々来テ團結ヲ破ツタ者ニハ、修繕サセルゾト公然ト竟ノ切崩策ヲヤツテ来リ、ガ、警クナリ。本部ニハ、コト米ルダロト、ヤチントシク目算ガアルゾ桐、大馬麻者ニ井中ノ蛙奴、会社ハ行クナツ、会社ハ行ク場合ハ本部ノ諒解ヲ得ヨ。本社ハ、ヤチント見張リヲ付ケタゾ。行ツタ者ハ言及切者トシテ、厳シイ制裁アルヲ知レ。修繕及ビ部分品等ノ購買等ノ場合ハ本部ニ相談ニ来ルンダゾ。オ、反逆者ノ末路ヲ見ヨ。一九二七、一〇、二六迄半。

## 賓用同志會爭議團本部



# 賓用同志會戰報

No. 6

◆ 俺達ガ料金管理を決定してから三日は経つた、然し会社は是に對して何等の彈圧を下す事が出来ない。要する俺達の行動が正義だからだ。たに二百名の扱金額を示す。

◆ 俺達の戦術は克実トシテ、全市樹木や各友誼園作

一 報市民に振り撒いた聲明書に、各方面からは熱烈な支持だ。握り飯が腹を満たし、各方面に飛躍する。宣傳する。果た目覚ましい活動振りだ。

◆ 如何に彼等が狐狸共が半歩進んで、